

## 新聞スクラップ学習の意義

子どもたちに新聞スクラップをさせる目的は、二つ考えられます。

まず、子どもを大人の新聞に近づけ、読むきっかけづくりのために行う1枚もののスクラップです。「興味のある記事を切り抜いてノートに貼り、思ったこと、感じたことを書いてごらん」とか、「今の季節と関係のある（関係の深い）写真や記事を探してごらん」などと具体的に示します。新聞を読ませる手段として行うもので、NIEの第一歩として有効です。

二つめは、ある事柄を調べたり、出来事の真相を究明したりするために新聞記事を使うものです。前者の切り抜きは単発ですが、こちらは継続して行う、さまざまな会社の新聞を広く、多く集める、などが必要です。

一つの事件・事故などを時間軸で追い、解決までをまとめたり、キーワードを決めてそれに関係する記事を集めてまとめたり、ある大きな出来事について異なる銘柄（会社）の新聞を多く集めて真相に迫ったり、さまざまな方法が考えられます。

さらに三つめを挙げると、新聞の情報を広く集めて後で調べたり、何かに役立てたりするために日常的に新聞切り抜きを行うというものです。一般的に「新聞をスクラップする」といえばこのことを指しますが、私は二つめの方法で行うものを「新聞スクラップ学習」とよんでいます。「新聞スクラップ学習」では、切り抜いた新聞記事をもとに、学んだこと、調べたことに意見・感想などを入れ、分かりやすく紙面や冊子にまとめて発表することも大事です。

新聞は、その日その日の新しいニュースを記事にしています。でも、その記事をつなげて自分なりの視点をもって追いかけていかないと、出来事の真相や前後関係などは分からないのです。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）